

都連創立30周年 都合気道錬成大会 道主特別講習会



毎月10日発行

発行所

東京都新宿区若松町17番
18号 (郵便番号162 0056)

公益財団法人 合気会

(合気道本部道場)

編集人 可児 晋

電話03 (3203) 9236(代表)
FAX03 (3204) 8145

購読料

1ヵ年 2,500円

郵便振替

00150-0-49527番

ご購読は、なるべく上記
振替口座をご利用下さい

159団体より参加500名



500名は黙々と稽古を重ねた

「東京都合気道連盟の30周年を記念しての錬成会がこのように多く

東京都合気道連盟創立30周年記念・平成27年度東京都合気道錬成大会・道主特別講習会(主催)東京都合気道連盟、後援)東京都(公財)東京都体育協会、(公財)東京都スポーツ文化事業団(公財)合気会、全日本合気道連盟)は、6月14日12時45分より東京武道館大道場で開催された。

大会は国歌斉唱の後、小林正明大会副委員長の開会の辞に始まり、大会委員長の藤城清次郎東京都合気道連盟理事長より「お忙しい中本大会にご参加いただき誠に有難うございます。本日は特別講師として合気道道主植芝守央先生をお招きしております。私どもの東京都合気道連盟は昭和59年

道歌

向上は
秘事も稽古も
あらばこそ
極意のぞむな
前を見えたり



道主は会場を回られ笑顔が集まった

「東京都合気道連盟の30周年を記念しての錬成会がこのように多く

の皆様に集まりいただき、ここで東京武道館で開催できること大変嬉しく思っております。各道場の横の融和を図るといって30年前に東京都合気道連盟は発足されました。39団体だったものが、159団体にまで広がったということをお聞きすると、東京の裾野が世界に広がっていると思えます。現在世界130カ国に広がっております。これは先達の方々が合気道の素晴らしさを広め、ずっと続けて来られたこと、いい形でいいものを伝えるということの精神が今日につながっていると思えます。と同時に現在稽古されている皆様方が日々真摯に取り組んでいるこの流れがおおきな和を作っていると思っております。是非この気持ちを大切に、是非この気持ちで大切にしてこれからの横の融和をしっかりと図っていくことをお願いいたします。47都

道府県の模範となる連盟になっておりますが、それを更に充実させて頂きたいと思っております。本日はおめでとうございます」との挨拶があった。

関東学連新入生講習会

関東学連合気道連盟新入生講習会は、5月25日午後2時から4時まで植芝守央道主を招いて、東京・千代田区の日本武道館で行われ、17校約200名が参加した。

全日本少年少女合気道錬成大会

平成二十七年全日本少年少女合気道(合気道)錬成大会が、七月十九日(日)午前十一時から、東京・千代田区の日本武道館で開催される。

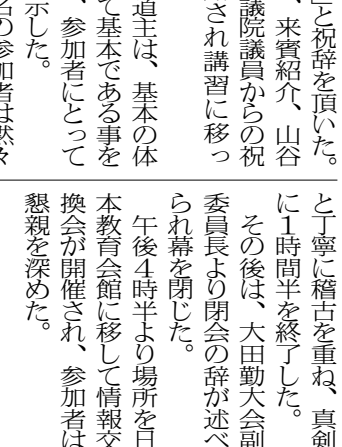
入身転換

梅雨明け前のこの時期、気温は低いが湿度が高い。稽古のあとは水分補給が欠かせない。スポーツドリンクを良く飲んでいますが、中には果糖などの糖分が含まれているので、注意が必要だ。

道主特別講習会

武友会道場40周年の道主特別講習会が、6月21日、植芝守央道主を迎え武蔵野市総合体育館で開かれた。

関東学連新入生講習会



道主は転換の体捌きから説明に入った

関東学連合気道連盟新入生講習会は、5月25日午後2時から4時まで植芝守央道主を招いて、東京・千代田区の日本武道館で行われ、17校約200名が参加した。

道主特別講習会

武友会道場40周年の道主特別講習会が、6月21日、植芝守央道主を迎え武蔵野市総合体育館で開かれた。

全日本少年少女合気道錬成大会

平成二十七年全日本少年少女合気道(合気道)錬成大会が、七月十九日(日)午前十一時から、東京・千代田区の日本武道館で開催される。

入身転換

梅雨明け前のこの時期、気温は低いが湿度が高い。稽古のあとは水分補給が欠かせない。スポーツドリンクを良く飲んでいますが、中には果糖などの糖分が含まれているので、注意が必要だ。

和歌山県青少年 錬成大会に421名

平成27年度和歌山県(和歌山市)地方青少年合気道錬成大会は、6月13、14日に和歌山県立武道館にて行なわれた。和歌山県下から小学生307名、中学生84名、高校生30名、合わせて421名が参加をした。

一日目は増尾登和歌山県合気道連盟事務局長による開会の言葉の後、国歌斉唱、来賓挨拶と続き、金澤威本部道場師範による大会講師挨拶をいただいた。その後、竹中日出雄大会副会長から錬成上の注意があり、その後参加者を代表して有田道場の帽子太将君が元気良く誓いの言葉を発し錬成が開始された。梅雨の曇り空のもと、熱気こもる館内でしたが、窓という窓を全開にして、金澤師範は前受け身や後受け身、膝行などの



大勢が真剣に取り組んだ

基本的な動作の後、交差取りや片手取りによる一教・二教、正面打ち小手返し入身投げ・小手返し、四方投げなど基本技の稽古を行なう。二日目は引き続き窓を全開にして、午前中は金澤師範による座り稽古による一教・二教、正面打ち小手返しなどを中心とした基本技の稽古のほか、諸手取り・後取りなどの応用変化技による暑さを吹き飛ばす活気溢れる稽古が行われた。

また、午後には演武大会が行われた。参加した子供たちは日頃の成果を發揮し元気いっぱい演武を披露した。演武会の締め括りとして金澤師範による総合演武が行われた。錬成終了に際し、竹豊館道場の軒端真歩さんからお礼の言葉に引き続いて、各道場の代表者に金澤師範から錬成証が授与されたのち、続いて有田道場の帽子太将君ほか12名の子供達に努力賞が授与され、楠見勝大会実行委員の閉会の言葉で無事終了した。

山形県演武大会に110名



植芝本部道場長の演武

第46回山形県合気道演武大会(新庄道場創設45周年記念)・講習会は6月13、14の両日、新庄市武道館にて、植芝充央本部道場長をお招きして開催された。

13日は演武大会が行われ、山形県内の8道場、カルチャースクール4つ、大学1校、高校1校から合計約110名が参加した。

開会式に先立ち、まず船越光雄山形県連盟会長が挨拶を行った。続いて植芝本部道場長が「亡くなられた白田林次郎師範がこの山形県に合気道の種をまき、現在に至っております。先人たちがやってくれたことを守りながら、良い形で未来につないでいくことが我々の役目だと私は思っております。ぜひこれからもしっかりと稽古をして、そして普及振興につなげていってほしい」と思いを述べた。

演武では少年少女、高校生、大学生、各道場の道場長による演武、また県連盟会長の船越師範による演武が行われ、最後に植芝本部道場長による総合演武で締められた。

演武会終了後は市内のホテル内会場で場所を移して祝賀会が行われ約40名が集まった。祝賀会に際して船越会長は「本日は植芝本部道場長の生き生きとした熱心な演武をしていただき、とても刺激になりました。ようじに本日の参加者全員一丸となって頑張りたい。」(和歌山県合気道連盟 上村)

埼玉大50周年の祝賀会

埼玉大学合気道部は1966年今村樹憲氏らによって設立されて以来、本年50周年を迎えることが出来ました。その1つ区切りである50周年を祝う為、5月30日にホテルニューオータニ二・芙蓉の間にて正午より記念祝賀会を開催致しました。

埼玉大学学長山口宏樹氏をはじめ、植芝充央合気道



埼玉大学合気道部創設50周年記念祝賀会

道主、埼玉大学合気道部の萩原昌好永世名誉顧問、小林保雄名誉師範および歴代顧問、師範の方々、創部者の今村氏や歴代OG、OBの計203名の出席者をもって開催されました。

先ず司会者から開会宣言があり、続いて長谷川顧問のあいさつ、そして来賓を代表して山口学長、植芝道主、小林顧問に祝辞を頂き、50周年の積み重ねを象徴するかの様にシャンパンタワーに乾杯のシャンパンを注ぎ、合気道部監督大関正美氏の音頭による乾杯を行いました。

それから会食に移り和気萬々飲んだり食べたり踊ったり、話も弾み一刻を過ぎたり、その間各方面の方々の祝辞をいただきました。また、永年の功労に感謝し記念品の授与を行い、1期OBである石垣晴夫氏、今村樹憲氏からお言葉を頂き、更なる飛躍を祈願し鏡開きを行いました。そして、最後にはOB会会長の佐藤嘉信氏の音頭で手締めを行い、祝賀会もお開きとなり、無事埼玉大学合気道部創部50周年祝賀会を終えることが出来ました。

最後にご多忙の中祝賀会に出席頂きましたご来賓の方々、OB・OGの方々、祝賀会開催の為に協力して頂いた方々にこの紙上をお借りして御礼申し上げます。(50周年記念行事 運営委員長 寺元豊)

香川県地域社会指導者研修会

平成27年度香川県(高松市)地域社会合気道指導者研修会は、6月13、14の両日、香川県立武道館で実施されました。中央講師として磯山博(公財)合気会本部師範と櫻田田司取手合気会指導員にお越し頂き、香川県合気道連盟会員を中心としておよそ70名が参加し、充実した研修会を実施することが出来ました。

この研修会では全日程を磯山師範による指導



磯山師範による指導

た。我々はこれからの若い力を育てながら山形県を盛り上げ、そして一生懸命普及振興に努めていかなければと思っております」と述べた。祝賀会は和やかに終われ、散会した。

14日は午前9時半から植芝本部道場長による2時間の講習会が行われ、約60名の参加があった。植芝本部道場長は入り身、転換の基本動作のもとにすべての技がつながっていることを意識して稽古することを強調して指導を行った。講習会には山形大学や山形南高校の学生も参加し、参加者と共に元気に汗を流した。

北海道連が 春季講習会

平成27年度北海道合気道連盟春季講習会(主催北海道合気道連盟)は、6月13、14日の両日に渡り、千歳市総合武道館にて開催され、本部道場より、私(難波)が派遣された。

参加者は、連盟加盟の18

の上座・下座を意識し、互いの礼でも互いの尊敬や感謝の気持ちを表すこと、武器を持った場合でもそれにふさわしい礼をすることを指導されました。

また合気道の稽古は道場の中だけでなく、日常の社会生活に於いて活かされたものでなければならぬ、また単なる格闘技ではなく、精神を磨き、人間性の向上と人格の完成を目指すものでなければいけないというところも改めてご教示戴きました。

技の面では、初日は体術で、体の変向から始まり、手首の柔軟性を養う運動、持続的な集中力を養う呼吸法、一教・四教の抑え技や種々の投げ技を、座り技、立ち技、半身半立ちなど様々な角度からまた体系的にご指導戴きました。2日目は、五教と武器技をご指導戴き、体術を行う際も常に武器を意識するようご教示戴きました。

取り・受けとも常に隙を作らないこと、そのためには目付や手のブラブラに気をつける、1対1ではなく、常に1対多数を意識する等、武道としての合気道の厳しさを指導戴きました。

「誓いの言葉」を山徳道場の寺田莉奈さんが力強く読み上げた後、群馬県合気道連盟の荒井俊幸会長による主催者挨拶が行われました。その後、群馬県議会議員の橋爪洋介氏、前橋市議員の橋爪中島とひろ氏による来賓の挨拶では子供たちへのエールの言葉が込められていました。

本番前、子供たちの顔も幾分緊張気味でしたが、14支部の子供たちは日頃の稽古のことをテーマに稽古指導を行った。

稽古後の懇親会では、参加者は、数々の賞を受けた千歳の地ビールと滋味に富む料理を心ゆくまで堪能し、相互の親睦を深めることが出来た。

私にとって初めての北海道合気道連盟主催の講習会には、参加者の合気道に真摯に向き合う姿勢、その情熱と理解の深さを感じることが出来た。(本部道場指導 部師範 難波弘之)

古の成果を發揮し、錬成演武を立派にやり遂げました。そして荒井俊幸師範(八段)による総合演武の後に、「感謝の言葉」を山徳道場の荒木陵彦くんが大きな声で感謝の気持ちを込めて読みました。最後に高崎市中央ライオンズクラブから努力賞と奨励賞の授与式が行われ、賞状と盾を頂いた子供達には満面の笑顔とそれを力メラに収める父兄の喜ぶ姿が印象的でした。(群馬県合気道連盟 中村彰男)

富山合気会は、6月7日、県営富山武道館において櫻井寛幸本部道場指導部師範を招いて、講習会と演武大会を開催した。午前の講習会には会員と県内外から40名が参加、爽やかな風の中、気持よく稽古に励み、2時間がいっ瞬となく短く感じられた。

櫻井師範は「取り」は構えと姿勢を正しく、捌く際には顔の向きに気をつけ、やや重心を下ろし、腰を中心素早く、巻き付くように捌くこと、「受け」は真剣にしっかりと打つことや掴むこととお互いに相手とのつながりを通して技を磨くようにつなぐアドバイスされた。午後からは、第23回合気道演武大会に臨み、一般公開によって日頃の稽古成果を披露すると共に、愛知県、岐阜県、石川県からの賛助演武、櫻井師範の模範演武を披露して頂いた。なお、県営富山武道館での活動が35年を経過した事を記念して、大会終了後は懇親会を開催した。(富山合気会 島恵司)

富山合気会は、6月7日、県営富山武道館において櫻井寛幸本部道場指導部師範を招いて、講習会と演武大会を開催した。午前の講習会には会員と県内外から40名が参加、爽やかな風の中、気持よく稽古に励み、2時間がいっ瞬となく短く感じられた。

櫻井師範は「取り」は構えと姿勢を正しく、捌く際には顔の向きに気をつけ、やや重心を下ろし、腰を中心素早く、巻き付くように捌くこと、「受け」は真剣にしっかりと打つことや掴むこととお互いに相手とのつながりを通して技を磨くようにつなぐアドバイスされた。午後からは、第23回合気道演武大会に臨み、一般公開によって日頃の稽古成果を披露すると共に、愛知県、岐阜県、石川県からの賛助演武、櫻井師範の模範演武を披露して頂いた。なお、県営富山武道館での活動が35年を経過した事を記念して、大会終了後は懇親会を開催した。(富山合気会 島恵司)

富山合気会は、6月7日、県営富山武道館において櫻井寛幸本部道場指導部師範を招いて、講習会と演武大会を開催した。午前の講習会には会員と県内外から40名が参加、爽やかな風の中、気持よく稽古に励み、2時間がいっ瞬となく短く感じられた。

富山合気会は、6月7日、県営富山武道館において櫻井寛幸本部道場指導部師範を招いて、講習会と演武大会を開催した。午前の講習会には会員と県内外から40名が参加、爽やかな風の中、気持よく稽古に励み、2時間がいっ瞬となく短く感じられた。

富山合気会は、6月7日、県営富山武道館において櫻井寛幸本部道場指導部師範を招いて、講習会と演武大会を開催した。午前の講習会には会員と県内外から40名が参加、爽やかな風の中、気持よく稽古に励み、2時間がいっ瞬となく短く感じられた。

暑中お見舞い申し上げます

全日本合気道連盟

理事長 尾崎 响
 常任理事 林 典夫
 同 宮本 鶴蔵
 同 小林 幸光
 他一同

国際合気道連盟

理事長 ピーター・ゴールズベリ
 事務総長 井沢 敬

東京都合気道連盟

全国学生合気道連盟

北海道合気道連盟

会長 藤井 幸一
 理事長 南雲 州治
 (他会員一同)

オホーツク中湧別道場

道場長 尾崎 响 指導部長 松田茂満
 道長代行 久保田雅士 事務局長 本田淑子
 〒091-0326
 北海道紋別郡湧別町中湧別北町三三
 電話・FAX 01566-1144

東北合気道連盟

会長 日高 浩(岩手県)
 理事長 船越光雄(山形県)
 副会長 追分拓哉(福島県)
 同 横山清一(秋田県)
 同 白川勝敏(宮城県)
 同 田辺孝美(青森県)

岩手県合気道連盟 大槌道場

道場長 澤 智也
 副道場長 里 満也
 道場一同

宮城県合気道連盟

会長 白川 勝敏
 理事長 角田 稔
 (事務局) 仙台市泉区大沢二六一九 渡邊方
 senchin@s3.dion.ne.jp

群馬合気会

会長 荒井 俊幸
 〒370-0864
 群馬県高崎市石原町五三〇三九
 センチュリイ111-111
 電話 090-9306-1168

群馬県合気道連盟

前橋市民合気会

会員一同

茨城県合気道連盟

会長 藤枝 一弘
 理事長 飯島悦男 常任理事 瀬尾 寿
 常任理事 稲垣繁實 同 桑原 隆
 同 渡引好文 理事・監事一同

取手合気会

取手市体育協会合気道部
 取手市合気道スポーツ少年団
 取手市レディース合気道クラブ

水戸合気会

水戸市合気道スポーツ少年団
 会長・団長 飯島 悦男
 会員・団員一同

合気道修練道場自然館

館長 吾妻 正義
 〒350-1335
 埼玉県狭山市根岸一七七十六
 電話 049-531-9674

蓮田合気会

入間市合気道連盟

会長 関戸 章弘
 入間幸武館道場
 館長 中島 正吉

草加合気道研究会

会長 中道 一也
 副会長 宮澤 義治
<http://soukaiiken.webnode.jp/>

合気道大宮道場

会員一同

大宮合気道倶楽部

会員一同

浦和合気会

会長 林 昭男

A&P合気道石垣道場

道場長 石垣 晴夫
 〒300-0611
 さいたま市浦和区常盤九八二五 松本ビル3階
 電話・FAX 048-833-0650

千葉県合気道連盟

会長 高橋 嗣慶
 理事長 吉川 滋

合気道花見川道場

道場長 等々力 敏夫
 〒261-0046
 千葉県花見川区花見川六一〇二〇一
 電話 043-315-8157

合気道 君津道場

野田合気会

会長 山中 紀光
 会員一同

柏合気会

会員一同

北総合気会

代表 山田 博信
 会員一同

中央区合気会

会長 糸田 寛人

葛飾合気会

会長 田中 満夫
 〒133-0051
 江戸川区北小岩四二二一〇
 電話 03-372-21034

合気道明心会

会員一同

中野区合気道連盟 中野区合気道会

会長 松本 肇

祖師谷合気会

会長 中村 文子
 〒157-0053
 東京都世田谷区祖師谷六二六二一
 電話 03-3415-2400
 tsumisaki.23@isofbank.com

大田区合気道会

会長 尾崎 响
 〒143-0024
 東京都大田区中央五一八一一
 電話 03-3755-1258

荒川合気会

会長 酒井 光雄

暑中お見舞い申し上げます

江戸川区合気道連盟
 理事長 藤城清次郎
 理事 理事 会員一同
 事務局 千三三〇五六
 東京都江戸川区南小岩二丁目二番六号
 電話 〇三三三六七
 F.A.X 〇三三三六七
 E-mail: cdogawaikido@ymail.plala.or.jp

新宿合気会
 会長 周参見紳次郎
 会員一同

合気道進藤道場
 道主 進藤芳子
 〒三六〇〇七四 江東区東砂二丁目三番号

神奈川県合気道連盟
 会長 松田良昭
 理事長 武田義信
 〒二四四〇八〇五
 横浜市戸塚区川上町四八六十七
 電話 〇四五八二四一九二

大和合気道クラブ一同

合気道五十嵐道場
 道長 五十嵐和男
 神奈川県相模原市緑区橋本五十二

合気道青葉塾道場
 本 田 靖 生
 事務局 土曜稽古会 木曜稽古会 日曜特別稽古会
 〒三三〇〇二二 横浜市青葉区すずき野三十二
 藤パークビル二階 青葉教育企画センター
 電話 〇四五九〇二一八〇八

葉山町合気会

山梨県合気道連盟
 理事長 若尾重廣
 会員一同
 事務局 千四〇〇〇六四
 甲府市飯田一丁目三番六号
 土屋勇理事方

静岡県合気道連盟
 理事長 石原克博

富山合気会
 代表 島 恵 司
 〒九八〇〇二二
 黒部市出島四二四七
 電話 〇七五五七二一九四

岐阜県合気道連盟
 会員一同

愛知県合気道連盟
 会員一同

尾張合気会
 会長 滝本清三

中央名会 守道場
 道場長 澤田俊晴

大手前学院合気道教室
 道場長 岩崎一基
 〒四五〇〇四四
 名古屋市港区築三町三十一番六号
 電話 〇五二二五三〇七四五

合気道四日市合気会
 会長 畝原正典
 外 会員一同

大阪府合気道連盟 加盟団体一同

公益財団法人 大阪合気会
 代表理事 柳澤健二

恒心道場
 大坂 恒

合気道大阪道友会
 会長 芋野光弘
 〒五八一〇八八三
 八尾市恩智中町四丁目二番九号
 電話 〇七二一九四二〇九六九

京都合気会
 代表 小山照雄
 会員一同

和歌山県合気道連盟
 会長 九鬼家隆
 副会長 天谷一郎 副理事長 寺本伊佐武
 同 竹中日出雄 同 冷水照夫
 理事長 五味田聖二 事務局長 増尾登

合気道熊野塾
 道場長 須川勉
 和歌山県新宮市元鍛冶町一五十一

奈良合気会
 師範 窪田育弘

神戸せいぶ館
 館長 中尾眞吾
 道場長 濱崎正司

岡山県合気道連盟 合気道正武会
 主席師範 壬生川堯一
 門下生一同

(一社)広島県合気道連盟 合気道北平塾
 北平雅一

山口県合気道連盟
 会長 中村克也
 外 連盟道場一同

合気道敷島塾
 会長 工藤泰助
 他 傘下道場一同
 〒七七三〇二二五
 徳島県小松島市中田町海ノ内二番三十三号
 電話 〇八八五二二二二八〇

愛媛県合気道連盟
 会長 橋田一美
 理事長 松田正司

合気道合心館
 館長 谷本敏夫
 松山市美沢二丁目一十二番二
 電話・FAX 〇八九九三三四三三
 http://aishinkan.sakurane.jp/

高松合気会
 会長 西原浩
 会員一同
 〒七六〇〇〇一三
 香川県高松市扇町一丁目三十三番八号
 電話・FAX 〇八七二二二八七〇四

鳥取県合気道連盟
 合気道鳥取道場
 米子合気会
 倉吉合気会
 合気道倉吉道場

熊本合気会
 水前寺道場長 高本和宜
 合志道場長 多田広明
 会員一同

天之武産合気至聖館 熊本道場
 道場長 宮下和道
 専任師範 木村義雄
 師範代表 田島勝三
 熊本市中央区渡鹿三丁目十六番六号
 電話 〇九六三三七一六六九

雲水悠々 合気道祥平塾
 菅沼守人
 〒八二二〇八九三
 福岡市博多区那珂五二一三二

公益財団法人 茨城支部道場
 道場長 植芝充央
 相談役 磯山博 指導部 永島義道
 顧問 藤枝一弘 同 磯山俊博
 総務部長 稲垣繁實 同 平澤憲次
 指導部 渡引好文 同 秋本英裕
 同 大和田幸正 同 川上俊明

公益財団法人 合気会 合気道本部道場

公益財団法人 合気会 合気道本部道場

上海(中国)巡回指導

私(難波弘之)は、6月5日から9日まで中華人民共和国の上海へ派遣された。5日13時に、上海虹橋空港に到着。陳徳明氏(上海合気会)、野倉昌子女士(上海国際合気道愛好会)、ウルリッヒ・M氏(上海西郊合気道会)らの出迎えを受けた。

上海合気会楊浦道場では、5日午後昇段審査がおこなわれ、参段3名、式段2名、初段4名が合格した。8日午後の稽古では、約20名が参加した。楊浦道場は、改築されて、敷地内の新しい建物に稽古場所が変わったが、昨年よりも狭くなり、両日共に、上海合気会会員のみ参加の講習会であった。



SSS、中山道場、合気会館、真武館、蘇州小林道場の9団体より93名が参加した。昨年4団体から参加団体数が倍以上に増え、活気を増した印象を受けた。それぞれの団体では、若い指導者が、若いメンバーに稽古指導をしており、これから若い力を十分に発揮してもらいたいと思う。そしてそのためには、老舗道場

である上海合気会と上海国際合気道愛好会の存在が不可欠であると感した。私にとって昨年以來四度目の上海でしたが、流動的な状況のなか、合気道の発展を感じることが出来てとても充実した5日間となった。陳先生、野倉先生、ウルリッヒ・M氏には、昨年に引き続きとてもお世話になり、快適な環境の元で稽古指導を行うことが出来た。両先生とは来年の再会を希望し合い、帰国の途についた。(本部道場指導部 師範 難波弘之)

露アナ。ハ 夏季講習会

私(栗林)は6月17日から23日まで、中央館道場代表アレクサンドル・カチヤン六段、恒例の夏季講習会の為、ロシア南部のアナパ市を訪問した。1992年以來のロシア訪問であり、今年に限っては1月に厳寒のサマラ市を訪問したのに続き、2度目のロシアでの講習会となった。アナ

パ市は冬季オリンピックが開催されたソチ市に隣接を包み、子供たちである会員たちが一生懸命に稽古を積み重ねてきた。稽古は18日(木)から21日(日)まで行われ、1日6時間、その6時間を私柴田師範、Peter Bernath師範で2時間ずつ受け持った。参加者はとても熱心に稽古をし、全部の稽古に参加する者たちも多く、合気道に対する情熱を強く感じることができた。また、参加者は雲畑会会員に限って100名の参加があり、米国内に限らずイスラエル、スペイン、カナダから来訪している者もいた。これは柴田師範の厳し

くも情熱と優しさあふれる指導から来た人望のなせる業ではないだろうか。土曜日の夜には、パーティが行われた。皆で持ち寄り、翌日に夏合宿最終日を控えた寂しさを感じながら、会員同士が大いに語り、楽しんでいられる様子を見ることができた。今後柴田師範を中心に、その家族の輪が広まっていくことを願っている。そして、いつの日かまた、その家族に会えることを楽しみにしている。(植芝充央 本部道場長)

を包み、子供たちである会員たちが一生懸命に稽古を積み重ねてきた。稽古は18日(木)から21日(日)まで行われ、1日6時間、その6時間を私柴田師範、Peter Bernath師範で2時間ずつ受け持った。参加者はとても熱心に稽古をし、全部の稽古に参加する者たちも多く、合気道に対する情熱を強く感じることができた。また、参加者は雲畑会会員に限って100名の参加があり、米国内に限らずイスラエル、スペイン、カナダから来訪している者もいた。これは柴田師範の厳し

くも情熱と優しさあふれる指導から来た人望のなせる業ではないだろうか。土曜日の夜には、パーティが行われた。皆で持ち寄り、翌日に夏合宿最終日を控えた寂しさを感じながら、会員同士が大いに語り、楽しんでいられる様子を見ることができた。今後柴田師範を中心に、その家族の輪が広まっていくことを願っている。そして、いつの日かまた、その家族に会えることを楽しみにしている。(植芝充央 本部道場長)

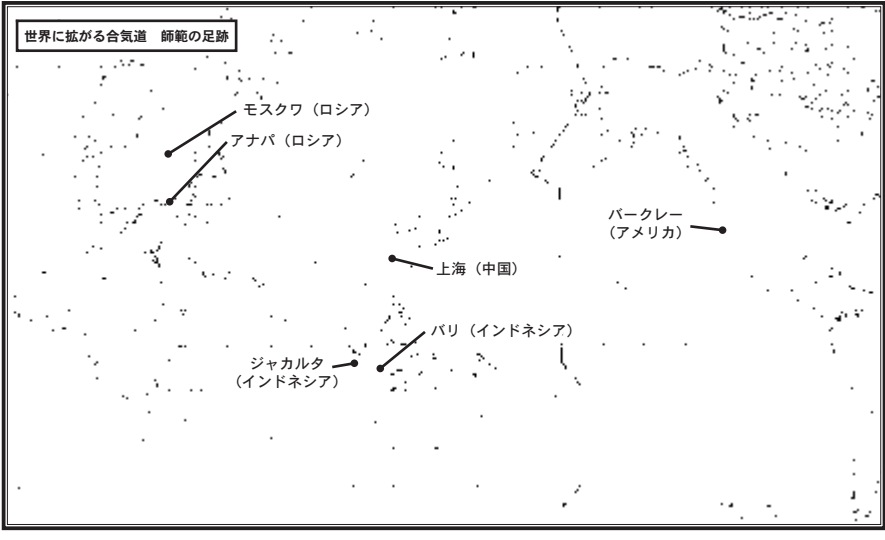
くも情熱と優しさあふれる指導から来た人望のなせる業ではないだろうか。土曜日の夜には、パーティが行われた。皆で持ち寄り、翌日に夏合宿最終日を控えた寂しさを感じながら、会員同士が大いに語り、楽しんでいられる様子を見ることができた。今後柴田師範を中心に、その家族の輪が広まっていくことを願っている。そして、いつの日かまた、その家族に会えることを楽しみにしている。(植芝充央 本部道場長)

くも情熱と優しさあふれる指導から来た人望のなせる業ではないだろうか。土曜日の夜には、パーティが行われた。皆で持ち寄り、翌日に夏合宿最終日を控えた寂しさを感じながら、会員同士が大いに語り、楽しんでいられる様子を見ることができた。今後柴田師範を中心に、その家族の輪が広まっていくことを願っている。そして、いつの日かまた、その家族に会えることを楽しみにしている。(植芝充央 本部道場長)

くも情熱と優しさあふれる指導から来た人望のなせる業ではないだろうか。土曜日の夜には、パーティが行われた。皆で持ち寄り、翌日に夏合宿最終日を控えた寂しさを感じながら、会員同士が大いに語り、楽しんでいられる様子を見ることができた。今後柴田師範を中心に、その家族の輪が広まっていくことを願っている。そして、いつの日かまた、その家族に会えることを楽しみにしている。(植芝充央 本部道場長)

くも情熱と優しさあふれる指導から来た人望のなせる業ではないだろうか。土曜日の夜には、パーティが行われた。皆で持ち寄り、翌日に夏合宿最終日を控えた寂しさを感じながら、会員同士が大いに語り、楽しんでいられる様子を見ることができた。今後柴田師範を中心に、その家族の輪が広まっていくことを願っている。そして、いつの日かまた、その家族に会えることを楽しみにしている。(植芝充央 本部道場長)

くも情熱と優しさあふれる指導から来た人望のなせる業ではないだろうか。土曜日の夜には、パーティが行われた。皆で持ち寄り、翌日に夏合宿最終日を控えた寂しさを感じながら、会員同士が大いに語り、楽しんでいられる様子を見ることができた。今後柴田師範を中心に、その家族の輪が広まっていくことを願っている。そして、いつの日かまた、その家族に会えることを楽しみにしている。(植芝充央 本部道場長)



四段が誕生した。指導者のカチヤン氏がモスクワ大学やモスクワ体育大学の教員であり、学生会員が多い中央館にとって、この時期は学生の試験期間にあたり、例年よりも参加者が少なかつた感はあるが、例年より少人数の分だけ、稽古時間以外にも互いに研究しあう姿が印象的であった。国土の広さもあるが、ロシアには頻りに本部道場の指導者はじめ日本の指導者が赴いており、ロシア国内における合気道熱は、ますます盛んになっていると言え、普及にだけ意識が奪われ、質の低下をする事のないように、我々もより一層真摯に稽古に当たる必要を感じた。(本部指導部 師範 栗林孝典)

私(伊藤)は、6月12日から16日まで、インスティテュート合気道インドネシア(IAI)の招へいを受け、インドネシア、ジャカルタ市にて講習を行った。15年ぶりのスカルンハッタ空港で、IAIセクレタリーのテディ氏の出迎えを受けた。午後4時に到着し市内へ移動して夕食の予定だが、空港から市内まではほぼ全渋滞している。ジャカルタ市は慢性的な渋滞に悩まされているが、今回は会員の計らいで警官の先導があり、1時間ほどで夕食会場までたどり着き、

の審査が行われ合格した。同団体の指導は3度目で、あるが、年ごとに実力が上がっているのを感じ、やりがいを感じる。ユースフェアレーション以外の連盟の会員の参加も多く、稽古中の提案に対し、理解と反応がとて早い為、私にとっても非常に面白い稽古になった。年々、会うごとに気持ちも通じあっており、暖かい気持ちで帰路についた。(本部道場指導部師範 桂田英路)

日曜日に審査を行い、初段23人、式段12人、参段5人の計40名が合格した。IAIはインドネシア全土に支部道場があり、今回の講習会は、年一回の合宿として開催されている。ジャカルタ、バンドン、スラバヤ、アチェなどから100名程が講習に参加した。インドネシアは人口2億人以上、ジャカルタ市は人口1000万人の大都会で経済発展が著しい。合気道修行者は今後ますます増えるだろう。渋滞をもっともせず、空港へ駆けつけた会員達に見送られ、夜のスカルンハッタ空港を後にした。(本部道場指導部師範 伊藤眞)

米パークレーで夏季講習会



植芝本部道場長の入身投げ

私(植芝)は6月17日から24日まで、米園サンフラ

シスコのパークレーにて、雲畑会パークレー合気会主

催の夏合宿を訪問。雲畑会

は平成元年に本部道場から

渡米した柴田一郎師範が代

表を務める会である。

サンフランシスコの地名

から想像すると暑いイメージ

があるが、パークレーは

朝晩冷え、昼間は25度くらい、湿度がなく過ごしやすい気候で、稽古を行うには最適な環境であった。まさに合宿日和といったところだろうか。

道場は日本の古き時代の大家族にたとえたらよいだろうか。柴田師範を大黒柱の父、そして家長とし、またMarianne夫人が母となり、その優しさで道場全体

を包み、子供たちである会員たちが一生懸命に稽古を積み重ねてきた。稽古は18日(木)から21日(日)まで行われ、1日6時間、その6時間を私柴田師範、Peter Bernath師範で2時間ずつ受け持った。参加者はとても熱心に稽古をし、全部の稽古に参加する者たちも多く、合気道に対する情熱を強く感じることができた。また、参加者は雲畑会会員に限って100名の参加があり、米国内に限らずイスラエル、スペイン、カナダから来訪している者もいた。これは柴田師範の厳し

くも情熱と優しさあふれる指導から来た人望のなせる業ではないだろうか。土曜日の夜には、パーティが行われた。皆で持ち寄り、翌日に夏合宿最終日を控えた寂しさを感じながら、会員同士が大いに語り、楽しんでいられる様子を見ることができた。今後柴田師範を中心に、その家族の輪が広まっていくことを願っている。そして、いつの日かまた、その家族に会えることを楽しみにしている。(植芝充央 本部道場長)

くも情熱と優しさあふれる指導から来た人望のなせる業ではないだろうか。土曜日の夜には、パーティが行われた。皆で持ち寄り、翌日に夏合宿最終日を控えた寂しさを感じながら、会員同士が大いに語り、楽しんでいられる様子を見ることができた。今後柴田師範を中心に、その家族の輪が広まっていくことを願っている。そして、いつの日かまた、その家族に会えることを楽しみにしている。(植芝充央 本部道場長)

くも情熱と優しさあふれる指導から来た人望のなせる業ではないだろうか。土曜日の夜には、パーティが行われた。皆で持ち寄り、翌日に夏合宿最終日を控えた寂しさを感じながら、会員同士が大いに語り、楽しんでいられる様子を見ることができた。今後柴田師範を中心に、その家族の輪が広まっていくことを願っている。そして、いつの日かまた、その家族に会えることを楽しみにしている。(植芝充央 本部道場長)

くも情熱と優しさあふれる指導から来た人望のなせる業ではないだろうか。土曜日の夜には、パーティが行われた。皆で持ち寄り、翌日に夏合宿最終日を控えた寂しさを感じながら、会員同士が大いに語り、楽しんでいられる様子を見ることができた。今後柴田師範を中心に、その家族の輪が広まっていくことを願っている。そして、いつの日かまた、その家族に会えることを楽しみにしている。(植芝充央 本部道場長)

くも情熱と優しさあふれる指導から来た人望のなせる業ではないだろうか。土曜日の夜には、パーティが行われた。皆で持ち寄り、翌日に夏合宿最終日を控えた寂しさを感じながら、会員同士が大いに語り、楽しんでいられる様子を見ることができた。今後柴田師範を中心に、その家族の輪が広まっていくことを願っている。そして、いつの日かまた、その家族に会えることを楽しみにしている。(植芝充央 本部道場長)

合気道探求50号 7月20日発売

- 道主対談 ジャックロード・プロイド
- 植芝本部道場長就任インタビュー
- ふるさと案内 東京
- 第53回全日本合気道演武大会
- 技法講座 座技正面打ち第四教(表・裏)
- 合気道人生 若尾重廣
- 日本武道の中の合気道 加来耕三
- 「教える」を考える 貝塚茂樹

